

News Letter

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184 <https://www.kokudo.or.jp>Japan Geographic Data Center
公益財団法人
国土地理協会

全国の人口は、1億2,433万690人

うち日本人住民は1億2,065万3,227人、外国人住民は367万7,463人

2025年8月6日に総務省が発表した、住民基本台帳に基づく2025年1月1日現在の人口は、1億2,433万690人でした。日本人住民の人口は1億2,065万3,227人で、前年に比べ90万8,574人、0.75%減少し、2009年をピークに16年連続の減少となっています。一方で外国人住民は前年より35万4,089人、10.65%増と高い伸びとなっています。

都道府県別人口の増減を見てみましょう。日本人住民が増えたのは東京都のみです。東京都は前年より1万6,825人増えていますが、これは、出生者数－死亡者数＝自然増減数が増えたわけではなく、転入者数－転出者数＝社会増減数が増えたものです（東京都の自然増減数は－5万5,227人）。

住民基本台帳に基づく都道府県別の人口

都道府県名	日本人住民人口		
	令7年1月1日 人口数 人	増減数 人	増減率 %
北海道	4,979,204	△59,896	△1.19
青森県	1,177,352	△20,628	△1.72
岩手県	1,142,737	△19,658	△1.69
宮城県	2,195,694	△20,244	△0.91
秋田県	901,840	△17,558	△1.91
山形県	1,002,037	△16,348	△1.61
福島県	1,751,626	△25,783	△1.45
茨城県	2,748,409	△27,764	△1.00
栃木県	1,848,411	△18,533	△0.99
群馬県	1,826,580	△20,337	△1.10
埼玉県	7,116,638	△31,767	△0.44
千葉県	6,084,566	△25,709	△0.42
東京都	13,281,311	16,825	0.13
神奈川県	8,917,670	△30,855	△0.34
新潟県	2,086,969	△29,558	△1.40
富山県	984,753	△12,334	△1.24
石川県	1,077,588	△12,786	△1.17
福井県	727,538	△8,080	△1.10
山梨県	777,981	△7,488	△0.95
長野県	1,967,136	△19,442	△0.98
岐阜県	1,878,783	△21,662	△1.14
静岡県	3,455,593	△38,970	△1.12
愛知県	7,161,850	△37,108	△0.52
三重県	1,674,333	△20,595	△1.22
滋賀県	1,363,729	△7,432	△0.54
京都府	2,389,403	△23,986	△0.99
大阪府	8,443,833	△35,296	△0.42
兵庫県	5,253,505	△43,926	△0.83
奈良県	1,284,953	△12,956	△1.00
和歌山県	891,161	△13,206	△1.46
鳥取県	527,998	△6,700	△1.25
島根県	632,135	△8,902	△1.39
岡山県	1,797,360	△18,627	△1.03
広島県	2,662,511	△27,007	△1.00
山口県	1,271,761	△19,033	△1.47
徳島県	691,640	△10,575	△1.51
香川県	920,639	△10,918	△1.17
愛媛県	1,278,063	△18,281	△1.41
高知県	658,202	△11,455	△1.71
福岡県	4,975,496	△21,753	△0.44
佐賀県	783,077	△8,373	△1.06
長崎県	1,258,937	△17,740	△1.39
熊本県	1,687,477	△15,500	△0.91
大分県	1,082,210	△12,975	△1.18
宮崎県	1,037,002	△12,116	△1.15
鹿児島県	1,540,235	△20,070	△1.29
沖縄県	1,455,301	△5,469	△0.37
合計	120,653,227	△908,574	△0.75

都道府県名	外国人住民人口		
	令7年1月1日 人口数 人	増減数 人	増減率 %
北海道	65,621	10,738	19.57
青森県	8,415	817	10.75
岩手県	11,163	1,209	12.15
宮城県	29,286	2,835	10.72
秋田県	5,753	531	10.17
山形県	10,318	1,194	13.09
福島県	19,688	1,878	10.54
茨城県	100,188	10,671	11.92
栃木県	55,762	5,919	11.88
群馬県	81,396	9,081	12.56
埼玉県	257,656	27,422	11.91
千葉県	227,013	27,130	13.57
東京都	721,223	73,807	11.40
神奈川県	284,889	24,726	9.50
新潟県	23,785	2,640	12.49
富山県	23,783	1,866	8.51
石川県	20,533	1,681	8.92
福井県	19,152	2,380	14.19
山梨県	23,075	2,175	10.41
長野県	45,263	3,706	8.92
岐阜県	72,509	5,092	7.55
静岡県	120,111	8,205	7.33
愛知県	321,905	19,981	6.62
三重県	66,933	4,334	6.92
滋賀県	41,517	2,144	5.45
京都府	82,610	7,924	10.61
大阪府	328,128	31,549	10.64
兵庫県	140,102	10,670	8.24
奈良県	18,914	1,616	9.34
和歌山県	10,032	1,102	12.34
鳥取県	6,005	496	9.00
島根県	10,455	868	9.05
岡山県	38,118	2,980	8.48
広島県	66,260	5,238	8.58
山口県	21,195	1,880	9.73
徳島県	8,769	972	12.47
香川県	19,326	2,298	13.50
愛媛県	18,296	2,342	14.68
高知県	6,661	695	11.65
福岡県	111,461	13,331	13.59
佐賀県	11,175	1,574	16.39
長崎県	15,434	2,117	15.90
熊本県	28,883	3,762	14.98
大分県	19,892	2,250	12.75
宮崎県	11,345	1,753	18.28
鹿児島県	18,685	2,629	16.37
沖縄県	28,780	3,881	15.59
合計	3,677,463	354,089	10.65

次に、各市区部と町村部の総計の人口増加、自然増加、社会増加の1位をみてみましょう（カッコ内の数字は前年比）。

東京都中央区 <人口増加率(+5.98%)、自然増加数(+873人)、自然増加率(+0.49%)、社会増加率(+5.48%)>

人口増加の背景には、多くの企業があることに加えて、晴海フラッグや臨海エリアでのタワーマンションの開発が進んだことにより交通の利便性が高まったことから、子育て世代の転入の増加につながっているようです。

大阪府大阪市 <人口増加数(+2万1,275人)、社会増加数(+3万7,907人)>

商業施設の開発が進み、インバウンド観光客の増加に伴い、関連する企業の従業員の増加やタワーマンションの建設により、大阪市周辺からの転入が増加につながっているようです。現在大阪万博（2025年10月13日まで）が夢洲（ゆめしま）で開催されています。跡地には、今後の人口増加を見据えて、国内外から集客を見込める大型アリーナや、モータースポーツを楽しめるサーキット場、アミューズメントパークや複数のホテルなど統合型リゾート計画も予定されています。

北海道くっちゃんちょう倶知安町 <人口増加数(+615人)>

外国人観光客の増加に伴いホテル、コンドミニウムなどが建設され、世界有数の国際リゾート地を目指しており、国内外の観光客を通して、住民との文化や習慣を理解しながら多様性に対応する魅力あるまちづくりが進められています。

北海道あかいがわむら赤井川村 <人口増加率(+10.27%)、社会増加率(+10.86%)>

国内外のスキーヤーに人気が高い「キロロリゾート」があり、多く訪れる海外からの観光客に対しても最適なサービスを提供する為に、外国人の従業員の受け入れを行っていることが増加率につながっているようです。

沖縄県はえばるちょう南風原町 <自然増加数(+104人)>

民間企業との連携で情報通信技術を駆使した次世代の移動サービス（AIオンデマンド乗合タクシー）を利用して地域のインフラを整える事で、移住者も含めて人口の増加につながっているようです。

東京都みくらしまむら御蔵島村 <自然増加率(+0.69%)>

御蔵島村では、転入後に安定して定住できるように住宅、雇用、子育ての施策等を行っています。また将来にわたって「住みたい・住み続けたい」と思える御蔵島村を実現するため、島内外に「応援人口」を増やしていく取り組みも考えています。

大阪府しまもとちょう島本町 <社会増加数(+663人)>

京都・大阪の中間にあることから交通のアクセスが良く、マンション等の宅地開発が行われた事により社会増加が見られたようです。島本町では、もっと町を知ってもらうためのPRを行い、まずは観光等に「来てもらう」取り組みを進め、そして島本町の環境の良さに触れてもらって、いずれは「住んでもらう」という一連の取り組みを今後計画として進めていく予定です。

※このほか、詳細については弊社発行の「住民基本台帳 人口・世帯数表（令和7年版）」をご覧ください。

第44回 地図地理検定のご案内 主催（一財）日本地図センター、（公財）国土地理協会

- (1) 試験日 : 2025（令和7）年11月9日（日）予定
- (2) 試験時間／問題数
地図地理検定（基礎）：13:30～14:20・全問択一式、100点満点
地図地理検定（専門）：15:00～16:00・択一式15問、記述式9問、100点満点
- (3) 実施都市 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
- (4) 受験資格 どなたでも受験できます。年齢等、一切の制限はございません。



地図地理検定

検索

受験料

基本受験のほかにリピーター割引、学生割引、シニア割引等があります。5名以上なら団体受験もできます。

	地図地理検定（基礎）	地図地理検定（専門）	基礎・専門の併願
基本受験料	3,000円	4,000円	5,000円
各種割引	2,000円	3,000円	4,000円

詳しくは地図地理検定ホームページ (<https://www.jmc.or.jp/keihatsu-kyouiku/chizuken/>) をご覧ください。

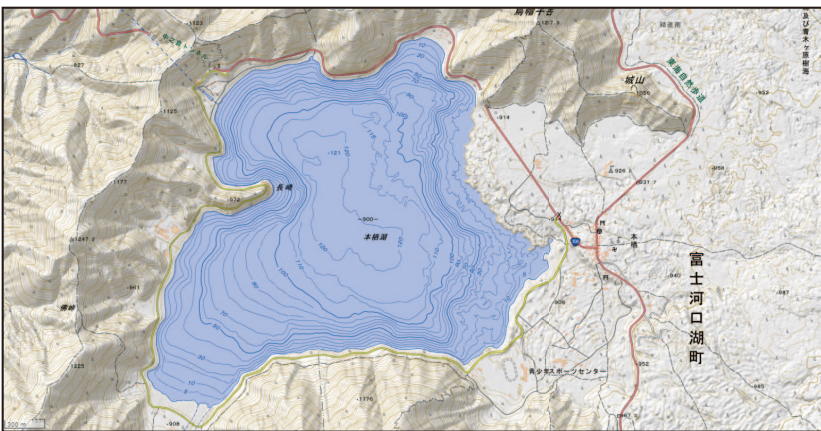
地図地理クイズ！

(第41回地図地理検定より出題)



問 日本の湖沼には火山活動によってできたものが多くあります。カルデラ湖は、噴火による爆発や陥没によって火山体の上部が失われた大規模な凹地に水が溜まってできた湖沼をいいます。近隣に活火山がある次の①～④の湖沼のうち、カルデラ湖ではないものを1つ選びなさい。ただし、地理院地図の縮尺はそれぞれ異なります。

①群馬県の榛名湖 活火山：榛名山



②山梨県の本栖湖 活火山：富士山（地図の範囲外）



③青森県の宇曽利湖 活火山：恐山
(地蔵山などの総称)



④鹿児島県の池田湖 活火山：開聞岳

【答え】②
【解説】カルデラ湖は設問文のとおり、噴火による爆発や陥没によって火山体の上部が失われた大規模な凹地に水が溜まってできた湖沼をいいますが、本栖湖は富士山の噴火による溶岩流がこった堰止湖です。地理院地図に陰影起伏図が重ねられているため、②は東側から流れてきた溶岩の痕跡を微小に凹凸で確認することが出来ます。②が誤り。③は現在活火山、活火山とは「概ね1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」と定義され、北方領土と海底火山を含む108の活火山が選定されました。2024年現在の活火山の数は111となっています。

日本旅巡り ～東北編～

今回は東北から、自然あふれる絶景と心癒されるスポットをご紹介します。日々の喧噪から離れて、リフレッシュの旅に出かけてみてはいかがでしょうか。

十和田湖（とわだこ）

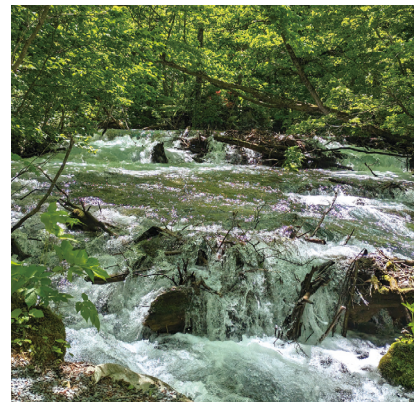
十和田湖は、青森県とわだし十和田市と秋田県かつのぐん鹿角郡小坂町こさかまちにまたがっているカルデラ湖(※)で、周囲の長さは約46km、水深約327mと日本で3位の深さと、日本でも有数の透明度を誇ります(※カルデラ湖とは、噴火によってできた陥没に、長い年月をかけて雨水がたまってできたもの)。水が青く透き通っているのが特徴ですが、秋の紅葉シーズン(10月下旬から11月上旬頃)は、十和田湖周辺の山々が赤や黄色に染まり、湖に映り込むその景色は圧巻と言われ、発荷峠展望台は絶景ビューポイントとして多くの人が訪れています。また湖畔周辺には多くの開運スポットがあり、その中でも「十和田神社」はパワースポットとして有名な神社です。湖畔でリフレッシュした後に、運氣アップのために開運ルートを散策してみるのもいいかもしれません。



発荷峠展望台から望む十和田湖

奥入瀬溪流（おいらせけいりゅう）

十和田湖と共に「特別名勝及び天然記念物」に指定されている奥入瀬溪流は、十和田湖を源流に太平洋に流れる奥入瀬川の最上流部14kmの区間とされており、滝や清流、岩など、たくさん見所があります。溪流沿いには車道と遊歩道が整備され、誰でも溪流のすぐ横を散策しやすいのが魅力となっており、環境省の「残したい日本の音風景100選」にも選ばれています。奥入瀬溪流の入り口にある奥入瀬溪流館は、奥入瀬溪流に関する資料の展示やお土産の販売もしています。中でも「奥入瀬源流水」で淹れたこだわりのコーヒーは人気があるようです。



奥入瀬溪流

ぶらっと寄り道～小坂町のみどころ～

十和田湖を挟んで、秋田県と青森県の境に位置する秋田県鹿角郡小坂町は、鉱山の歴史とともに繁栄した町です。明治時代に建設された木造芝居小屋「康楽館」は、2002(平成14)年に国指定重要文化財に指定され、全国でも珍しい和洋折衷造りの木造芝居小屋として歴史的価値が高く、多くの観光客で賑わっています。また、「日本の滝百選」のひとつに数えられる名瀑「七滝」周辺にある「**小坂七滝ワイナリー**」では、小坂町の山ぶどうを使ったワインを世界に認めてもらえるよう、町全体でワインの普及を促進する取り組みを行っています。

ニュースレター等に関するお問い合わせは

公益財団法人 国土地理協会 〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3番1号

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184

URL <https://www.kokudo.or.jp>